

トホクのナバナ・トウナ栽培方法

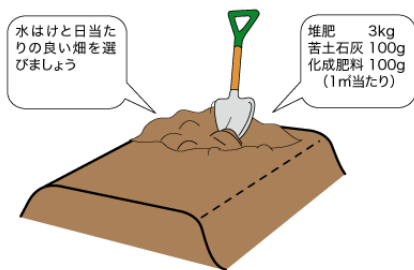
発芽適温：15～25℃ 生育適温：10～20℃
 土壌酸度：pH6.0～6.5 連作障害；1～2年あける

1. 作物特性

花が咲く前の蕾とその下の茎を食べるアブラナ科の野菜です。トウ立ちには低温を感じる必要がありますが、品種によってはトウ立ちに必要な低温の量（どれだけ寒い日が続いたか）が異なりますから、結果トウ立ちまでの日数が異なります。アスパラ菜のように必要な低温が少なく済む品種は春から秋まで連続してタネまきできますが、多くの品種は秋にタネをまいて越冬させて早春に収穫する品種です。年内にできるだけ株を大きくすることが栽培のポイントです。

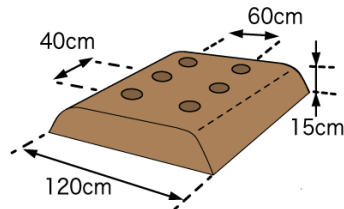
2. 畑の準備

アブラナ科野菜との連作は避けます。また越冬させる種類の場合なるべく日当たりの良い場所を選びましょう。



3. タネまき

タネは畑に直接まきます。1カ所に4～5粒ずつ、約1cmの深さにタネをまきます。菜園の面積に余裕がなく秋野菜が畑に残っている場合などは、ポットで苗を育てておいて、畑が空いたら植え付けるのも一つの手です。



4. 栽培管理・収穫

生育に応じて間引きをし、本葉5～6枚までに1本にします。年内に株を十分な大きさにしておくことが重要で、肥料切れを起させないよう、定期的な追肥と水やりを行います。

トウ立ちしてきたら、主枝を摘心し、わき芽の発生を促します。その後わき芽が伸びてきたら20cm位の長さで収穫します。



5. 主な品種と特性

★低温の必要性が低く、春まき、秋まきともにできる品種。



地域/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地				●	●	●	●	●	●	●	●	●
中間地				●	●	●	●	●	●	●	●	●
暖地				●	●	●	●	●	●	●	●	●



地域/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地				●	●	●	●	●	●	●	●	●
中間地				●	●	●	●	●	●	●	●	●
暖地				●	●	●	●	●	●	●	●	●



地域/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地				●	●	●	●	●	●	●	●	●
中間地				●	●	●	●	●	●	●	●	●
暖地				●	●	●	●	●	●	●	●	●

★秋まきして、低温に当たってから収穫が始まるタイプ。



地域/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地								●	●	●	●	●
中間地								●	●	●	●	●
暖地								●	●	●	●	●



地域/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地								●	●	●	●	●
中間地								●	●	●	●	●
暖地								●	●	●	●	●



地域/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地								●	●	●	●	●
中間地								●	●	●	●	●
暖地								●	●	●	●	●



地域/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地								●	●	●	●	●
中間地								●	●	●	●	●
暖地								●	●	●	●	●



地域/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地								●	●	●	●	●
中間地								●	●	●	●	●
暖地								●	●	●	●	●